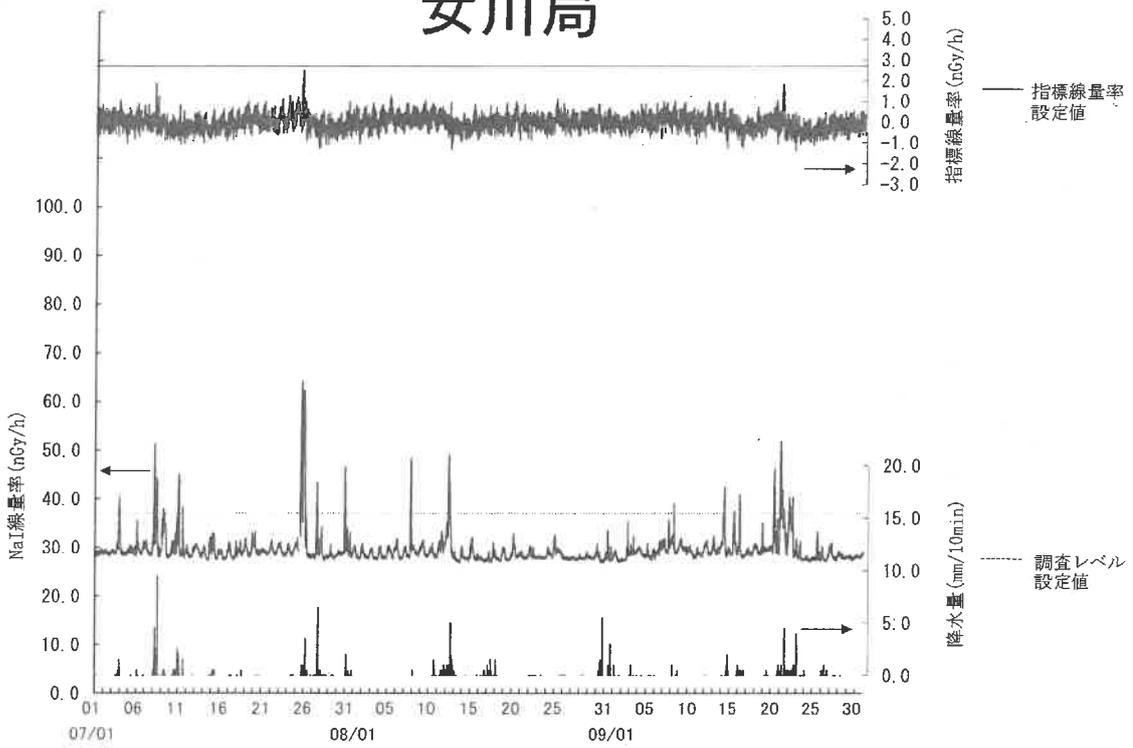


指標線量率関連資料

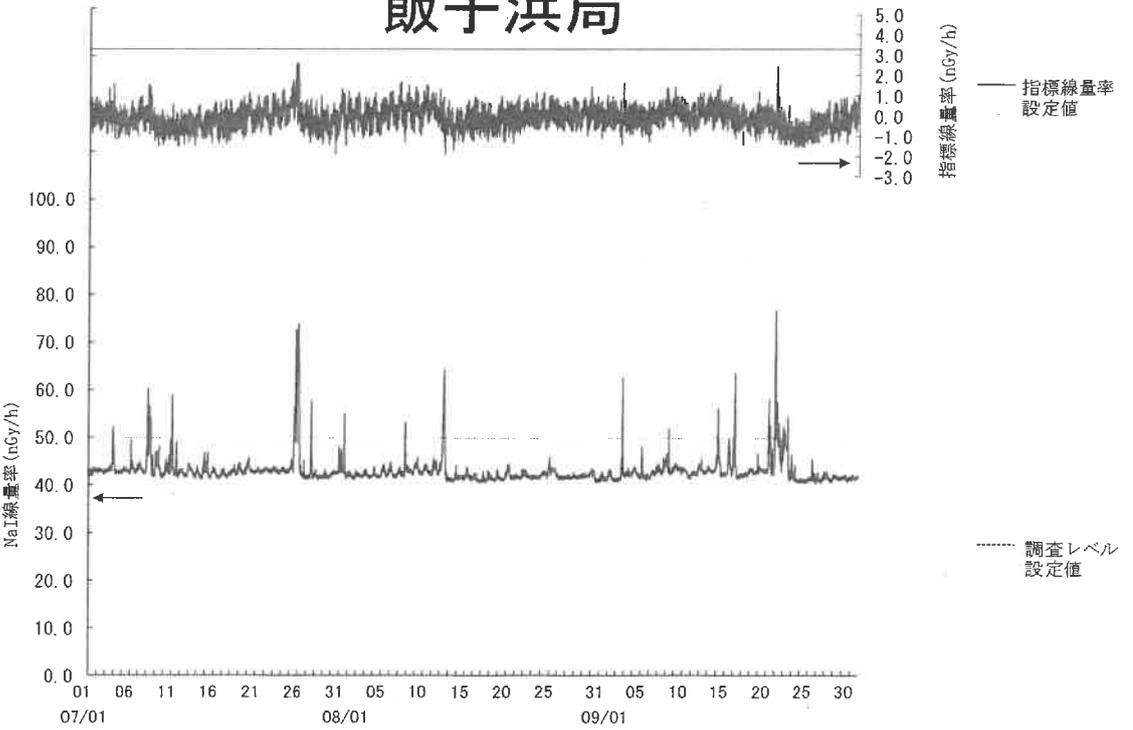
令和6年度第2四半期

女川局

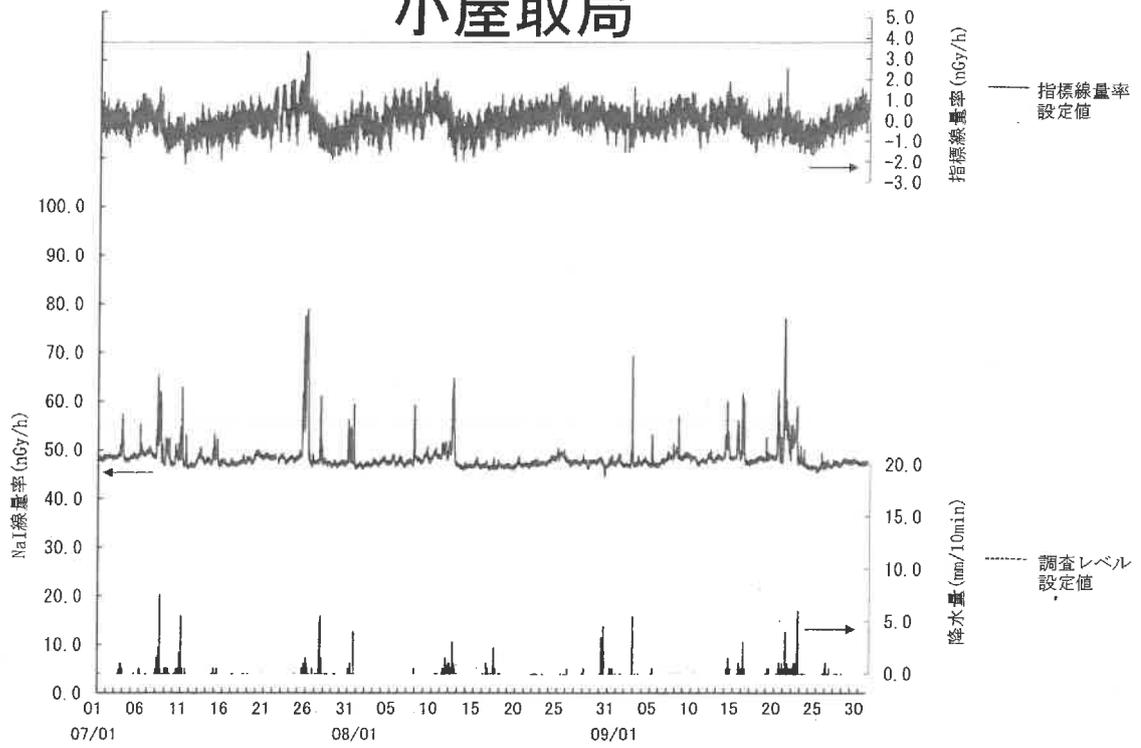


(注) 7月25日の欠測は定期点検によるものである。

飯子浜局

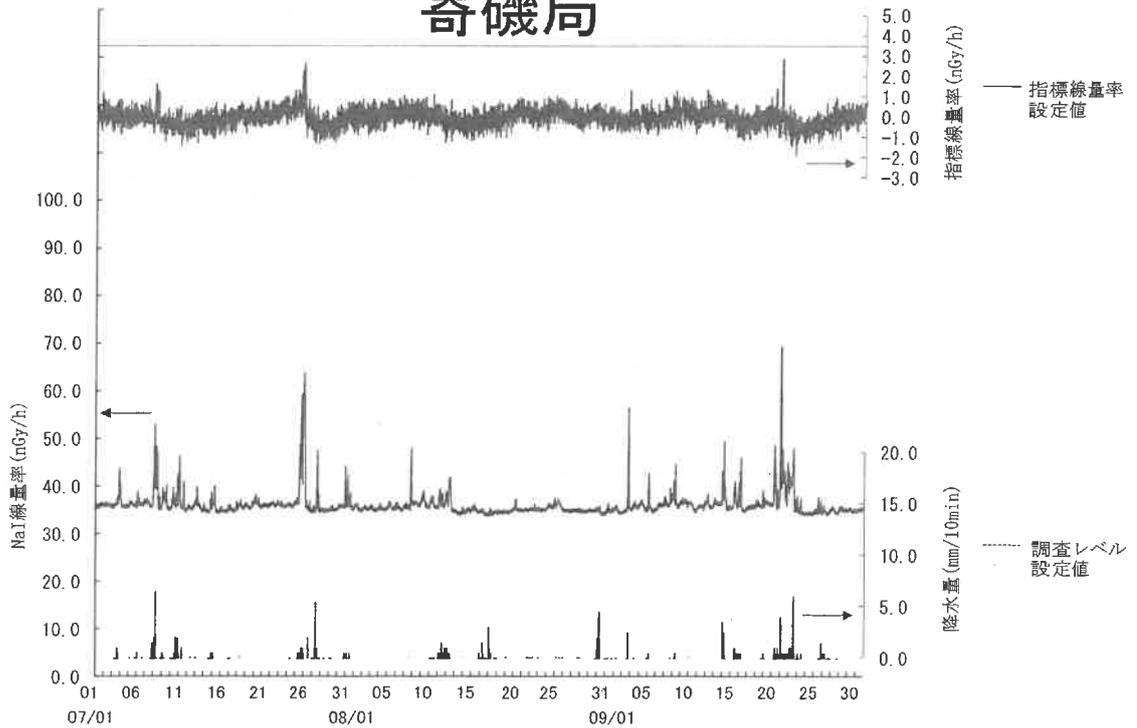


小屋取局

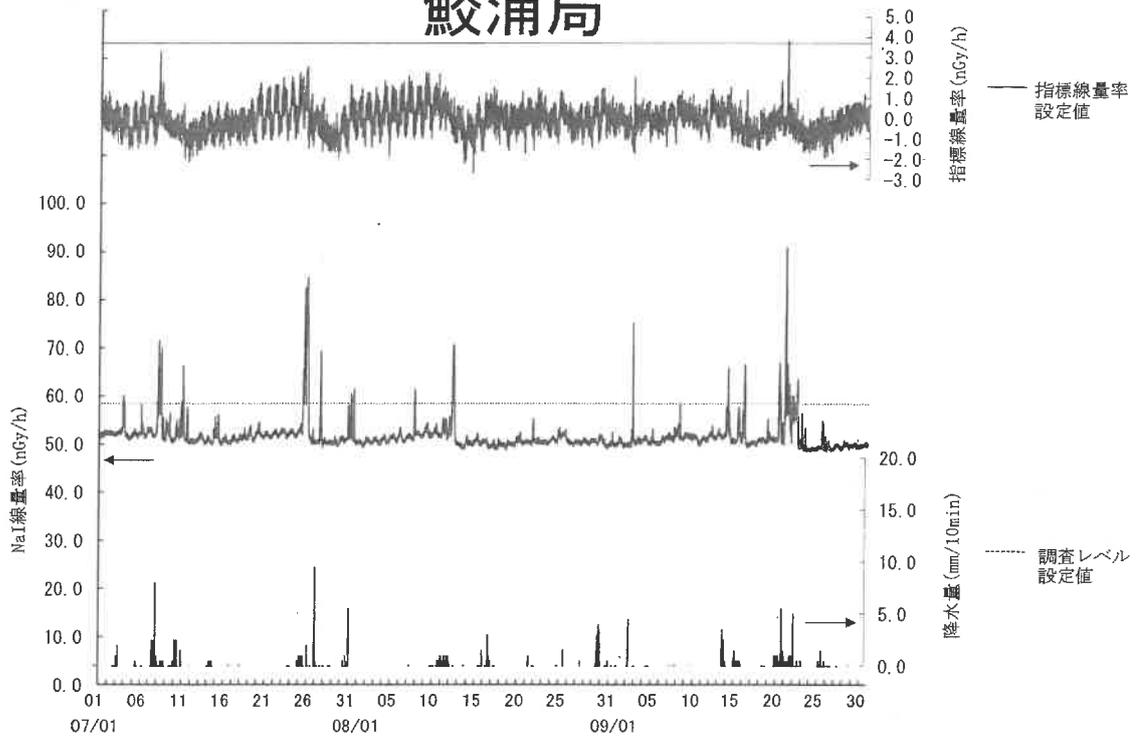


(注) 7月22日の欠測は定期点検によるものである。

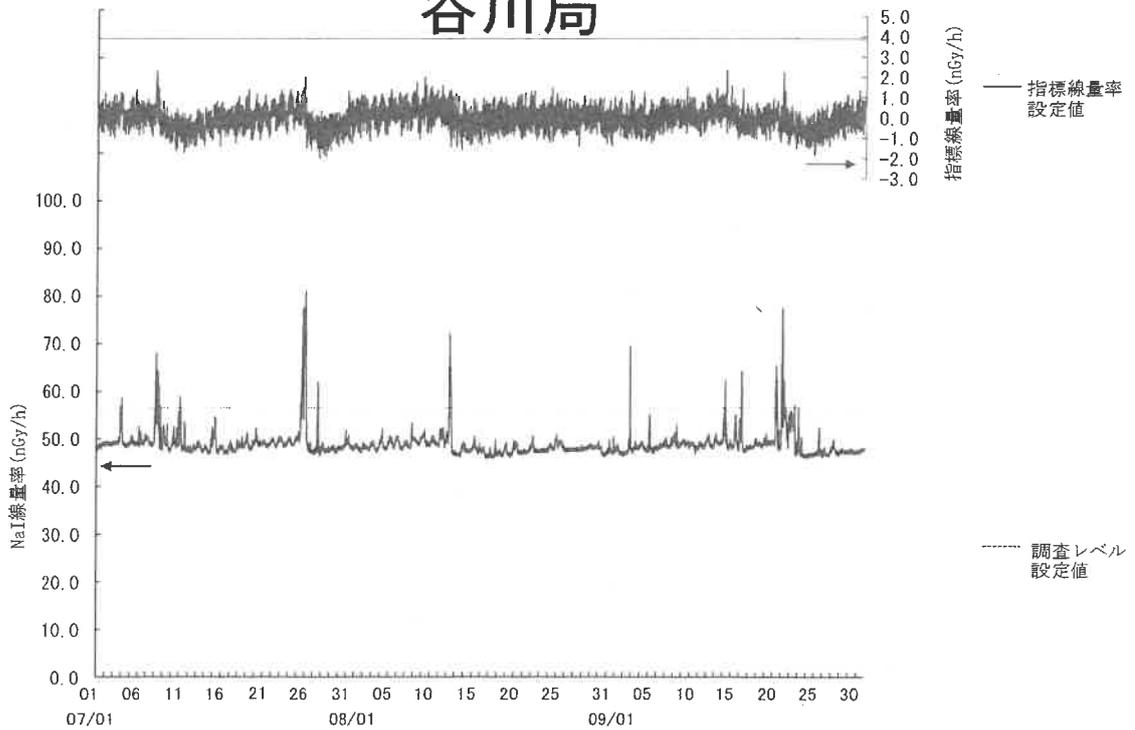
寄磯局



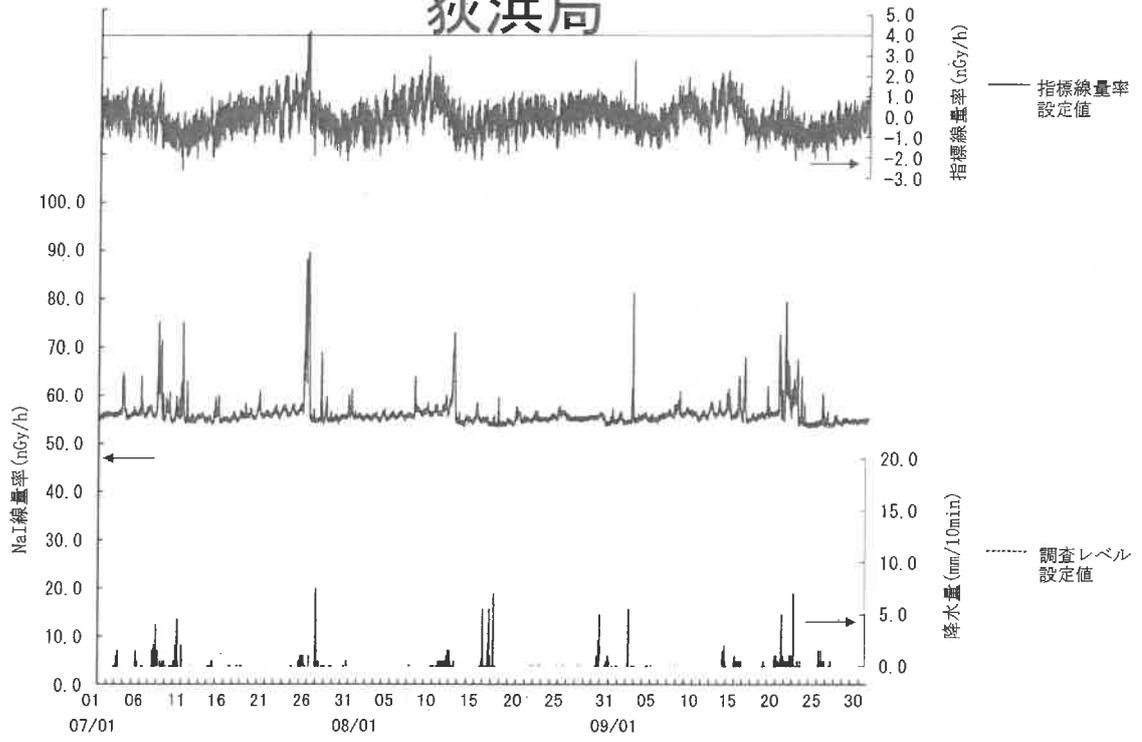
鮫浦局



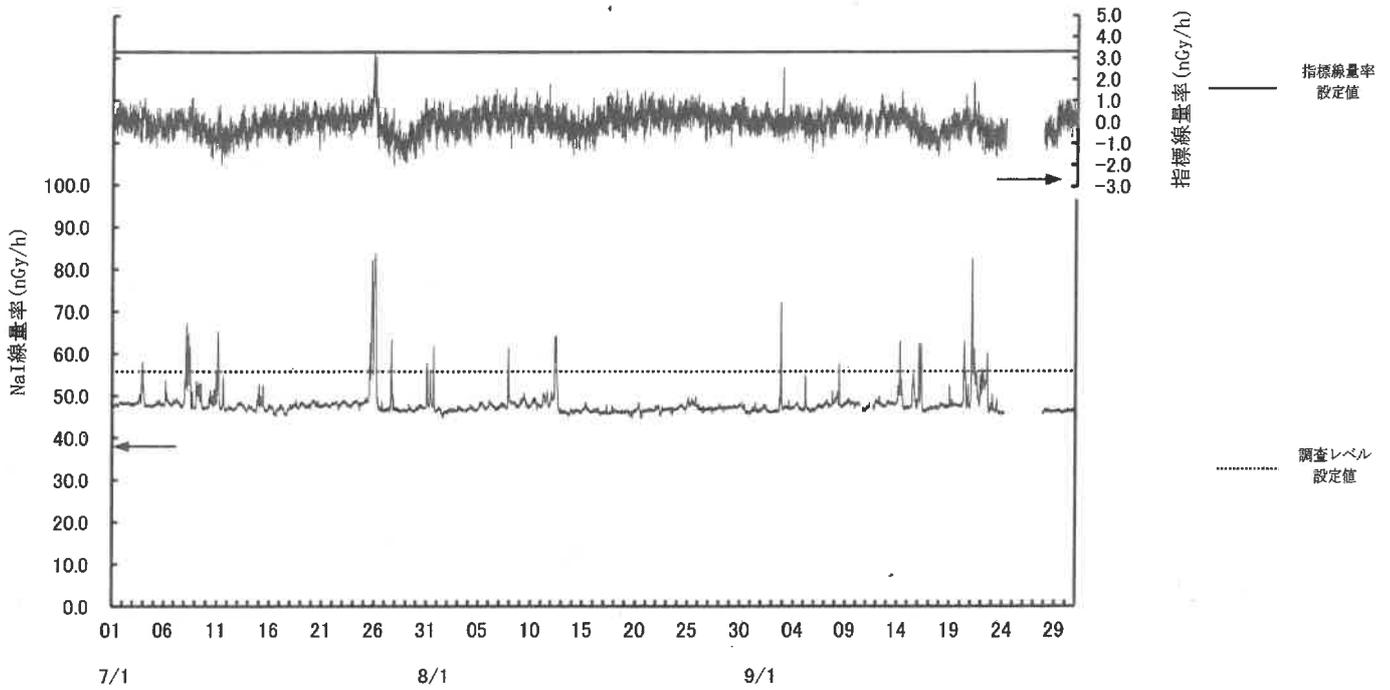
谷川局



荻浜局

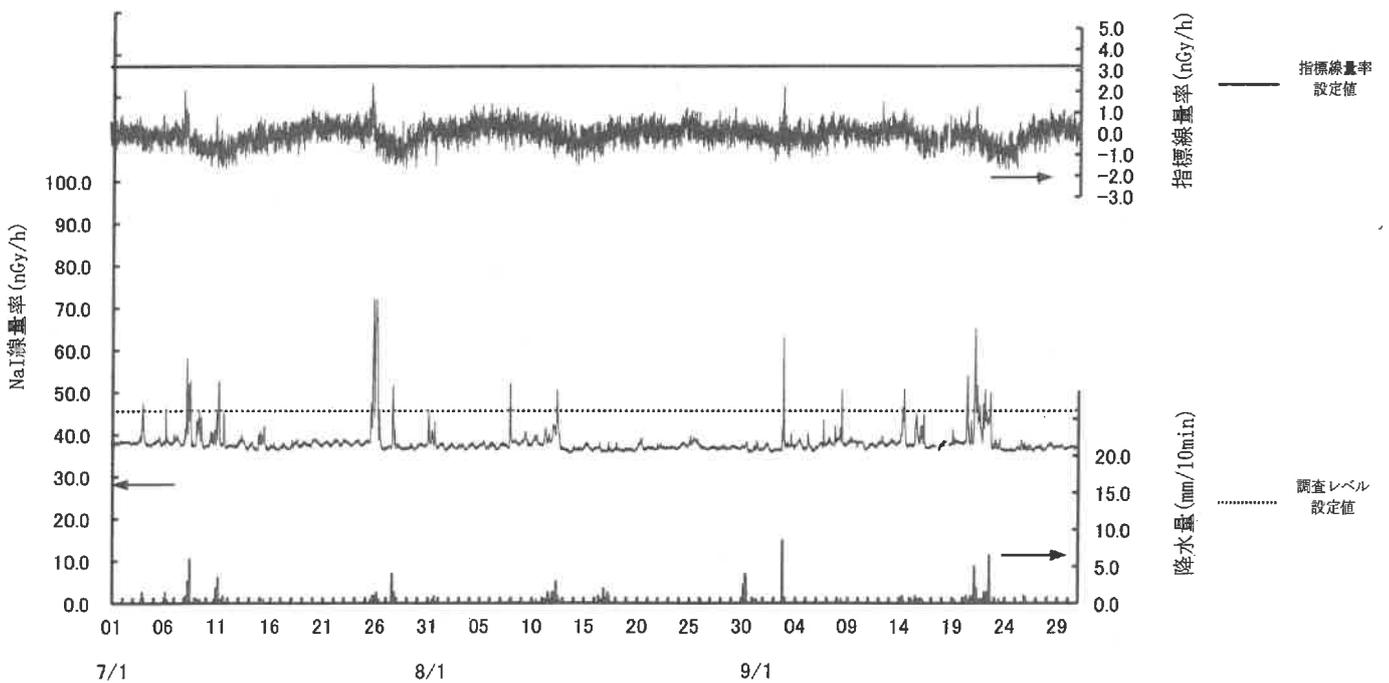


塚浜局



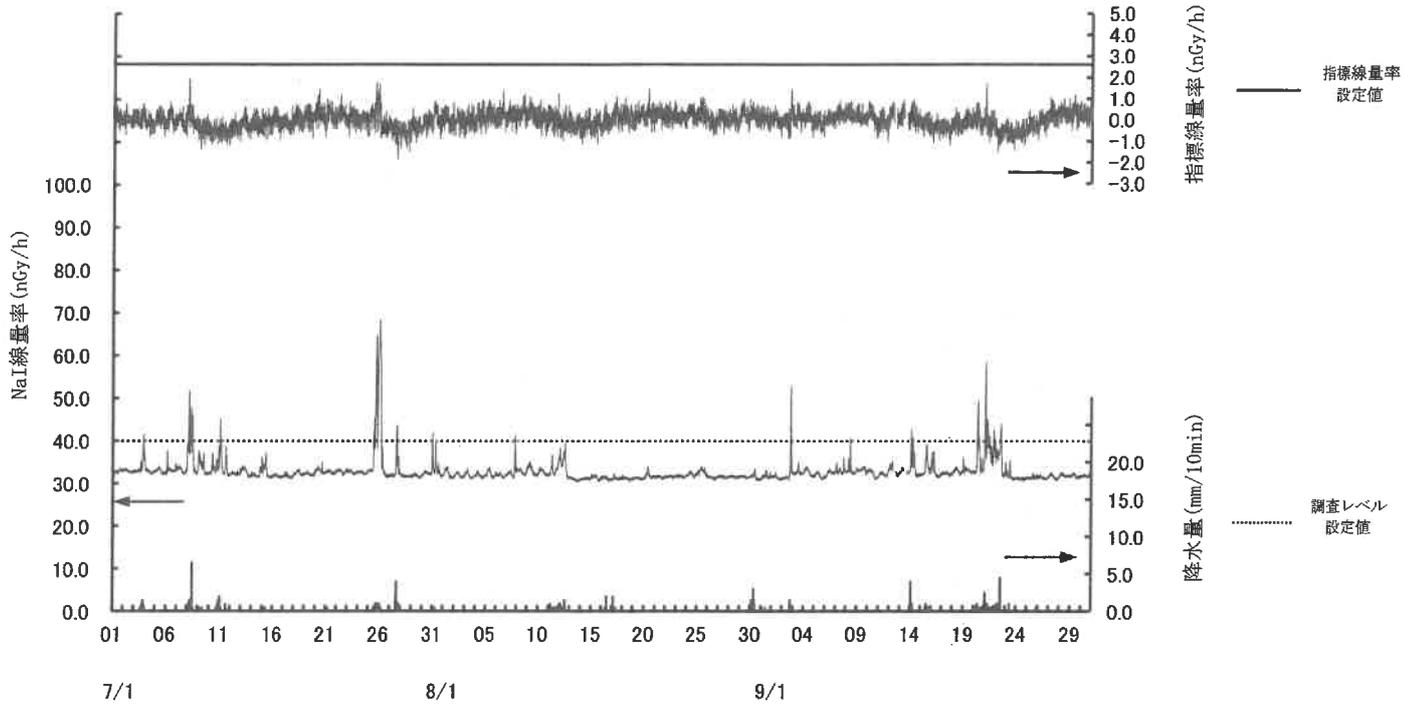
(注) 9月10日及び9月11日の欠測は、定期点検によるものである。
9月24日～9月27日の欠測は、故障したNaI(Tl)検出器の交換作業によるものである。

寺間局



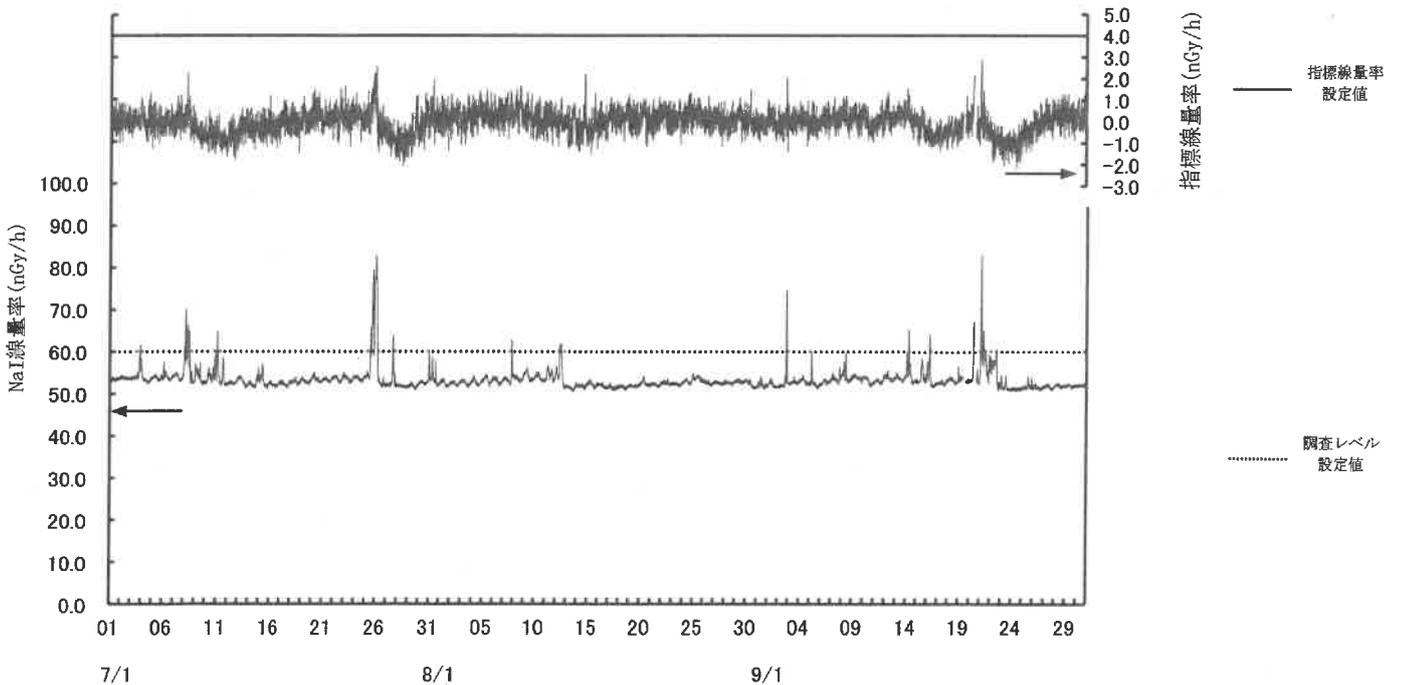
(注) 9月17日及び9月18日の欠測は、定期点検によるものである。

江島局



(注) 9月12日及び9月13日の欠測は、定期点検によるものである。

前網局



(注) 9月19日及び9月20日の欠測は、定期点検によるものである。

(参考)

空間ガンマ線量率監視における指標線量率設定値について

1 従前から運用していた7局

該当事期	指標線量率設定値 (nGy/h)						
	女川局	小屋取局	寄磯局	塚浜局	寺間局	江島局	前網局
～平成28年度	2.0						
平成29年度	NaI(Tl)検出器の下方2πに設置していた鉛遮へいの取り外しにより、指標線量率の最大値や標準偏差が約2倍となったことから、指標線量率設定値の2倍の4nGy/hを暫定設定値とすることとした。						
	4.0						
平成30年度～	指標線量率の標準偏差はNaI線量率と相関があることから、指標線量率設定値を一律とせず、局ごとに設定することとした。 従前の設定値である2.0nGy/hは、指標線量率の標準偏差の各局平均値0.27nGy/hの約7.4倍だった。 従来と同程度のスクリーニングの割合を確保する観点から、平成29年度における各局の指標線量率の標準偏差の7.4倍を新たな指標線量率設定値とした。						
	2.7	3.8	3.5	3.3	3.2	2.6	4.0 [※]

※前網局については試算値が5.4nGy/hとなり、暫定設定値4.0nGy/hより大きくなったため、監視水準を低下させないように、4.0nGy/hを継続することとした。

2 令和元年度から運用を開始した4局

該当事期	指標線量率設定値 (nGy/h)			
	飯子浜局	鮫浦局	谷川局	荻浜局
令和元年度～ 令和3年度	令和元年度より運用を開始したモニタリングステーション4局については、過去データが無いため、平成29年度における既設局の暫定設定値を当面準用することとした。			
	4.0			
令和4年度～	過去データが蓄積されたため、指標線量率の設定値を検討し、既設局と同じ設定方法で算出することとした。			
	3.3	3.7	3.9	4.0